

伝わる読み聞かせ術を学ぶ

読み聞かせ講習会を開催

11月26日、絵本専門士で読書推進団体「こども広場・マグノリア」代表の牧野幹先生を招き、1年生と家政科学科2・3年生を対象に読み聞かせ講習会を開きました。

生徒は、発達段階に合った絵本を選ぶことや、絵本の魅力を伝えるために、読み聞かせのイロハについて牧野先生から丁寧な指導を受けたほか、かつて自分も読んだことがある絵本の魅力に再度触れ、読み聞かせの技術や知識について理解を深めました。

本校生徒には例年、将来の職業に保育士を考えて



読み聞かせの技術や本の魅力を伝える牧野先生

て進路選択をする人も多く、今回の講習会が保育技術検定や地域、家庭クラブでの活動など、ボランティアや生徒自身の夢の実現につながることを期待しています。



高校魅力化にプログラミング教育を活用

本校生徒がスパルタキャンプに挑戦

11月17日から12月15日まで全5回(合計10時間)の日程で、プログラミング授業「スパルタキャンプ・ライト in 平館高校」を行いました。この取り組みは、起業家の育成を目的に市が行っているプログラミングイベント「スパルタキャンプ」のノウハウを高校の魅力化に役立てようと、本年度初めて実施したものです。

キャンプのカリキュラムを高校生向けの内容に組み直して実施した今回の授業では、始めに講師の吉田力さんがプログラミング言語Pythonの特徴や仕



吉田さん(左)の指導を受け、プログラミングに取り組む生徒

組みを説明。論理的な思考と確認の反復が求められる課題に向き合う表情は真剣そのもので、未来志向のスキルを学んだ生徒にとって、今回の取り組みは、一人ひとりの可能性を広げる機会になりました。

平高LIFE

平高入学の理由・当初の目標



地域との交流がたくさんあって学校は楽しいです

家庭研究部

遠藤 ひより さん

(普通科2年：西根中出身)

テスト勉強を頑張っていること
私は進路をまだ決めていないので、進路選択に対応できるように、学校の勉強を大切にしています。また、家庭研究部で取り組む茶道では、自分の心を整え、相手に敬意を表すため、一つ一つの動作(所作)を丁寧にすることを心がけています。

2人の兄が平高の卒業生で、紫薫祭で友達や先生と最高の思い出を作ることができたという話を兄から聞いていて、とても楽しそうだと思っただけです。

平高で頑張っていること

将来の夢・進路

今は、自分が将来どうなりたのか、考え中です。総合的な探究の時間の授業で取り組んだ八幡平市のPR活動を通じて、相手に分かりやすく伝えたいときは、伝えたい情報を多くしすぎないようにすることだと学びました。これは社会人になったときにも役立てられるものだと思います。

学校生活の楽しいところ

クラス全員が協力できるところです。紫薫祭で、自分の仕事だけでなく、他の人の仕事も手伝うことができました。お互いに支え合うことの大切さを身にしみて感じました。

伝えたい平高の魅力

入学すれば、自分の知らなかった八幡平市の魅力をより知ることができるし、地域の人との交流もたくさんあり、学校生活は楽しいので、ぜひ、入学してください。



紫薫祭のお茶会でお点前を披露する遠藤さん

